

Fashion for **P**assion



橋本コウ

レギンスの女

星模様がたくさんついているレギンスに僕はそそられた。ピンク色だったから、倍そそられた。彼女のレギンスは美脚をどんどんアピールしてきた。レギンスはそれだけで、女の子をかわいくする、無敵のアイテム。これがあれば、もう顔なんて関係がなかった。

網タイツの女

じっと見つめると、その幾何学的模様に吸い込まれそうになる網タイツに僕はそそられた。黒い網の目の隙間から覗く肌色は、まるで夜空をきらめく星たちのようだ。「脚を組んで欲しいな」このままずっと天体観測しててもいいが、やっぱり最後は破りたい衝動に駆られた。

キャミソールの女

夏はキャミソール。白いキャミソールから伸びる、やや日焼けした腕が僕は好きだ。キャミソールの肩紐とちょっとズレて並行しているブラは黒がいい。白と黒と肌色のコントラストが夏を匂わせた。暑いなどとは言ってられない。やっぱり僕は夏が一番好きだ。

水玉の女

黒地に白の水玉のワンピースを、最近僕は好きになった。いままでは、いかにも女の子っぽい感じのファッションは好きじゃなかったんだけど、かわいい服もかわいいなって思うようになった。ワンピースが風に揺れ、水玉が流れる。颯爽と振り向いた女の子に恋心。

ジーンズの女

女の子のジーンズはやっぱり濃いブルーに限る。後ろから見たときに、太腿と太腿の隙間にできる空間が好きだ。ローライズでたまにシャツから覗くウエストは、堂々と出しているヘソなんかより100倍くらいときめいてしまうのは、僕だけじゃないはずだ。

スーツの女

黒スーツはミニスカートが似合う。白い大きめの襟がピリっとしているシャツがあれば、さらなるポイントアップ。僕はフロアをカンカンと鳴らして歩く姿や、前屈みでコピーをとる姿が好きだ。そんな女性とだったら、サービス残業も悪くない。ずっと見てたら、鋭い目で睨まれたけど。

エプロンの女

鉄板かもしれないけど、エプロンの女の子もかわいい。裸エプロンの必要はない。ふつうの服の上からエプロンをかけて、カレーとか、シチューとか、料理してるだけで満足。僕のためか自分のためかわからないけど、とにかくそこに愛はありそう。素になれるアイテム。

オーバーオールの子

前ポケットから、ぬいぐるみとか出ていたら「なんてかわいいんだ！」と叫びたくなる。オーバーオールの子。クマのぬいぐるみと、オーバーオールの横の隙間から見える彼女のTシャツの、どっちがいいかは難しいけれど、たぶん、ぬいぐるみを選ぶだろう。

セーラー服の女

もう犯罪になってしまうから、好きになってはいけない。セーラー服を着た女の子はキラキラ、ギラギラしていて、僕はむかしに戻りたくなかった。でもそれは僕の幻想。女子高生も多くて3年以内の幻想。卒業すれば、キラキラ、ギラギラは薄まり、僕たちの仲間になる。

ランジェリーの女

下着姿の女の子自体は、そんなに好きじゃない。ランパブとか、意味わからない。僕は服を脱がせた結果として、下着だけになった女の子がかわいいと思う。第一段階のゴール。そして目指すは第二段階のゴール。それはもう、下着姿の女じゃないけれど。

パーカーの女

パーカーは男女ともかわいいアイテムだ。ちょっとゆるめのパーカーで、両手をポケットに入れて
ルンルンと歩く彼女はかわいいと思う。突然雨が降り出し、彼女がフードをかぶると前髪が揃
った。雨が嫌で不機嫌そうになってる表情も、パーカーが洗い流してくれた。